

2015年12月期 第2四半期 決算説明会

2015年10月30日
株式会社電通国際情報サービス

2015年12月期第2四半期決算概況

(1)2015年12月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期累計	前年同期との比較			<参考> 2015/5/12発表予想との比較		
		前年同期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	37,765	35,823	+1,942	+5.4%	36,787	+978	+2.7%
売上総利益	11,151	9,779	+1,372	+14.0%	-	-	-
売上総利益率	29.5%	27.3%	+2.2p	-	-	-	-
販管費及び一般管理費	9,387	8,906	+481	+5.4%	-	-	-
営業利益	1,763	872	+891	+102.2%	1,045	+718	+68.7%
営業利益率	4.7%	2.4%	+2.3p	-	2.8%	+1.9p	-
経常利益	2,056	981	+1,075	+109.6%	1,107	+949	+85.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,342	534	+808	+151.3%	686	+656	+95.6%

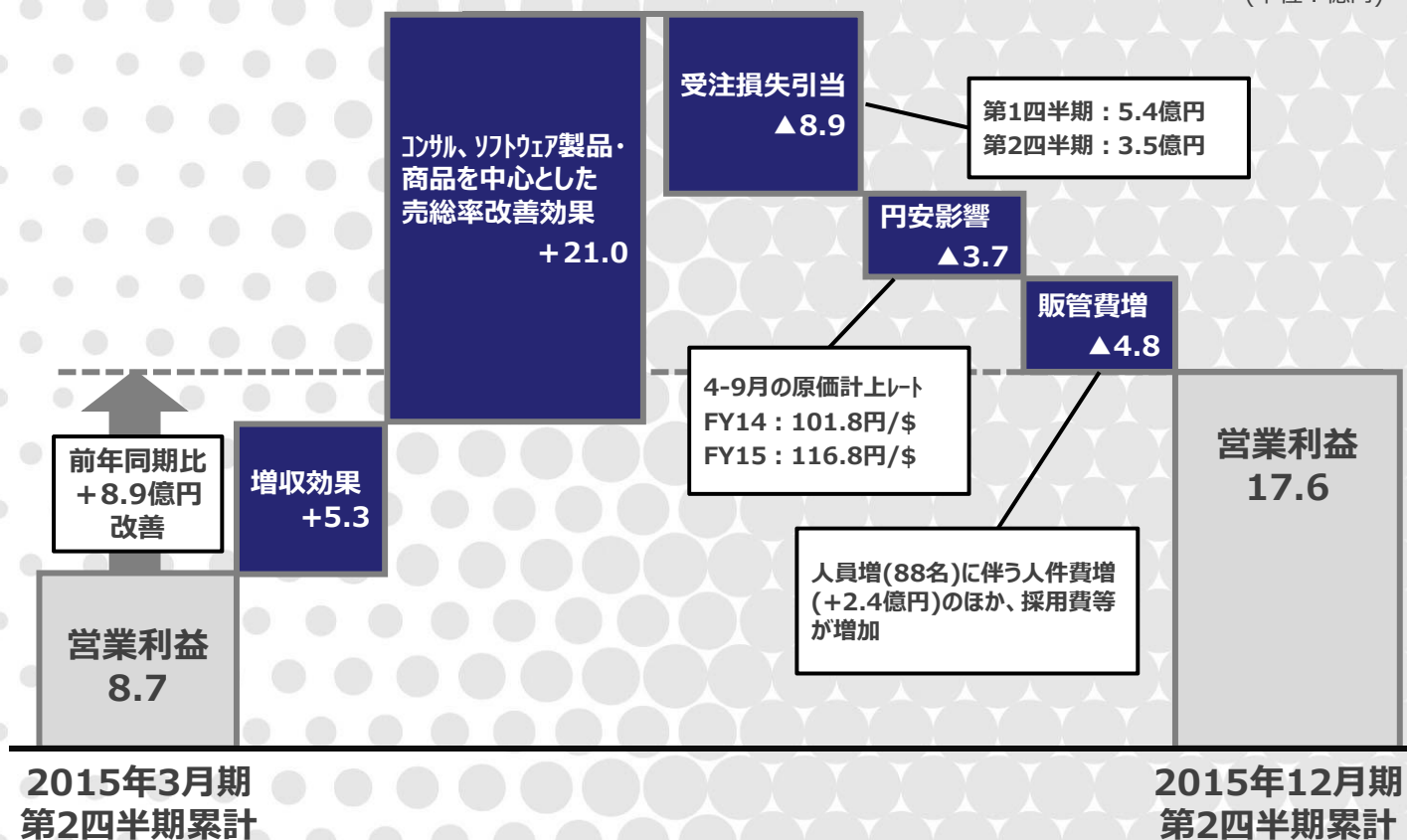
【売上高】 前年同期比+5.4% 期初予想比+2.7%

【営業利益】 前年同期比+102.2% 期初予想比+68.7%

～売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は上期として過去最高～

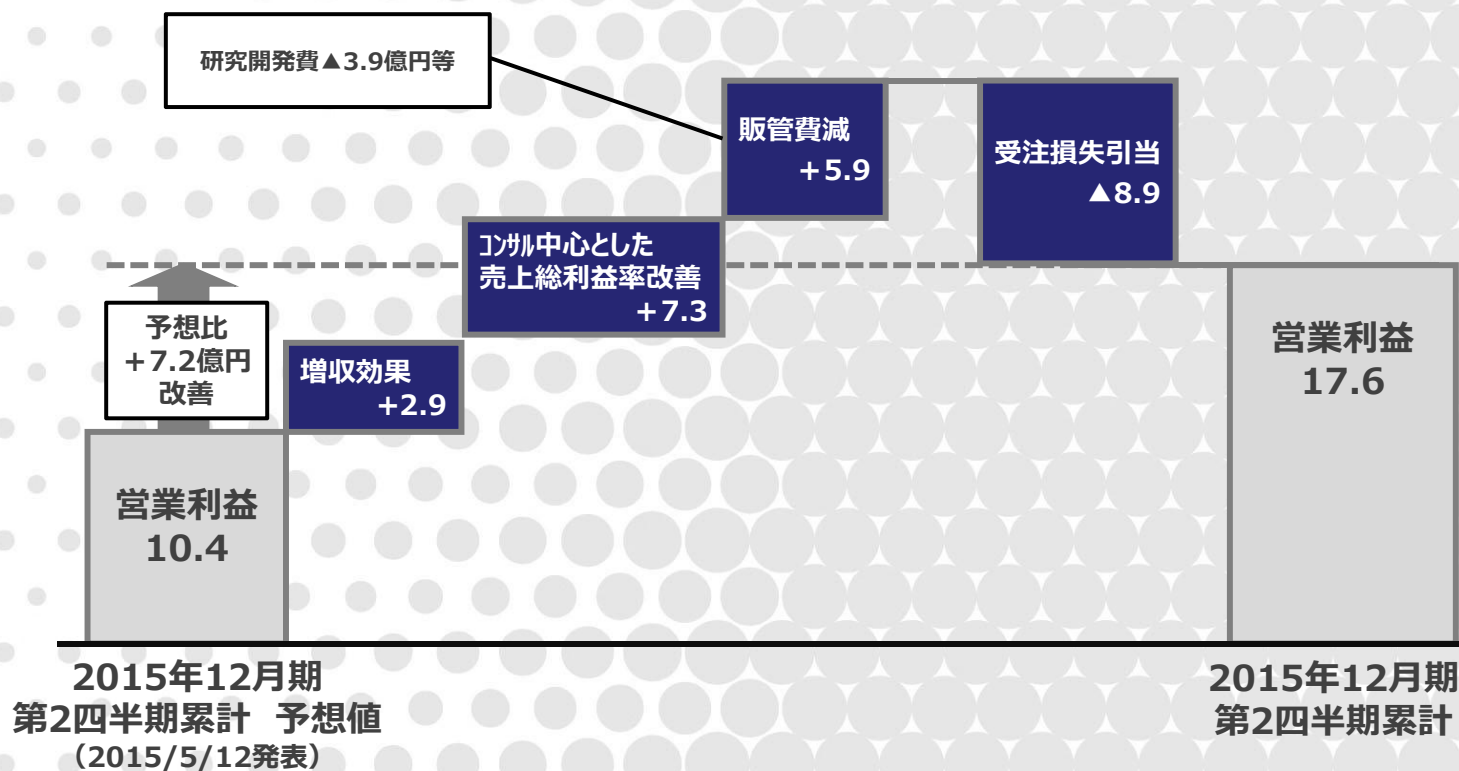
(2)営業利益の増減要因【前年同期比】

(単位：億円)



<参考> 営業利益の増減要因【期初予想比】

(単位：億円)



(3) 事業セグメント別 連結売上高

(単位：百万円)

事業セグメント	2015年12月期 第2四半期累計	前年同期との比較			<参考> 2015/5/12発表予想との比較		
		前年同期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
金融ソリューション	11,875	10,738	+1,137	+10.6%	11,496	+379	+3.3%
ビジネスソリューション	7,100	6,896	+204	+3.0%	6,567	+533	+8.1%
エンジニアリングソリューション	10,819	9,934	+885	+8.9%	10,656	+163	+1.5%
コミュニケーションIT	7,970	8,254	▲284	▲3.4%	8,067	▲97	▲1.2%

- 金融** 大手銀行向け受託システム開発、次世代融資ソリューション「BANK・R」が拡大
- ビジネス** 人事管理ソリューション「POSITIVE」、連結会計ソリューション「STRAVIS」、統合ERPパッケージ「Oracle-EBS」等が拡大
- エンジニアリング** MBDの導入支援IT、構想設計ソリューション「iQUAVIS」、製品ライフサイクル管理ソリューション「Teamcenter」等が拡大
- コミュニケーションIT** 電通との協業ビジネスは拡大したものの、電通グループ向けが減少

MBD…ITプラットフォーム開発。自動車業界をはじめ製造業で導入が進む革新的なものづくり手法。

(4)サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2015年12月期 第2四半期累計	前期との比較			＜参考＞2015/5/12発表予想との比較		
		前期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
コンサルティングサービス	2,132	1,633	+499	+30.6%	1,765	+367	+20.8%
受託システム開発	10,930	10,669	+261	+2.4%	11,556	▲626	▲5.4%
ソフトウェア製品	6,798	5,750	+1,048	+18.2%	6,348	+450	+7.1%
ソフトウェア商品	11,352	10,610	+742	+7.0%	11,189	+163	+1.5%
アウトソーシング運用保守	3,422	3,509	▲87	▲2.5%	2,956	+466	+15.8%
情報機器販売他	3,128	3,649	▲521	▲14.3%	2,972	+156	+5.2%

コンサルティング MBD導入支援等のコンサルティングが主として自動車業界向けに拡大
受託システム開発 かんぽ銀行・大手銀行向けを中心に拡大
ソフトウェア製品 「BANK・R」「POSITIVE」「STRAVIS」「iQUAVIS」「iPLAss」が拡大
ソフトウェア商品 「Teamcenter」を中心に設計開発分野向けソフトが拡大
アウトソーシング 電通グループ向けが減少
情報機器他 電通グループ向けならびに製造業向けが減少

(5)連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2015年4月～ 2015年9月	2014年4月～ 2014年9月	増減	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	2,606	5,412	▲2,806	売上債権の回収額の減少(▲1,354)、 前受金の減少(▲1,102)
投資活動による キャッシュ・フロー	96	▲1,537	+1,633	ソフトウェア等の固定資産の取得による支出の減少(+990)、 投資有価証券の売却による収入の増加(+460)、 関係会社出資金の売却による収入の増加(+189)
財務活動による キャッシュ・フロー	▲964	▲951	▲13	配当金の支払額の増加(▲66)、 リース債務の返済による支出の減少(+53)
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲42	174	▲216	
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	1,695	3,097	▲1,402	
現金及び現金同等物の 期首残高	17,714	12,849	+4,865	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	19,409	15,947	+3,462	

(6) 連結貸借対照表

iSiD

IT Solution Innovator

(単位：百万円)

	2015年 9月30日	2015年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	47,468	46,699	+769	資金の増加(+1,695)、前渡金の増加(+1,083)、 たな卸資産の増加(+947)、売上債権の減少 (▲2,374)、未収入金の減少(▲638)
固定資産	15,771	15,629	+142	投資有価証券の増加(+1,361)、ソフトウェアの減少 (▲617)、繰延税金資産の減少(▲274)、有形固定 資産の減少(▲243)
資産合計	63,239	62,328	+911	
流動負債	18,895	19,481	▲586	仕入債務の減少(▲1,153)、未払法人税等の減少 (▲1,086)、未払消費税等の減少(▲763)、前受金 の増加(+1,518)、受注損失引当金の増加(+885)
固定負債	2,256	2,347	▲91	
負債合計	21,151	21,829	▲678	
純資産合計	42,087	40,499	+1,588	親会社株主に帰属する四半期純利益の計上 (+1,342)、時価変動等によるその他の包括利益累計 額の増加(+707)、剰余金の配当(▲456)
負債純資産合計	63,239	62,328	+911	

- 9 -

(7) 受注・受注残高

iSiD

IT Solution Innovator

(単位：百万円)

	受注高		受注残高	
	2015年12月期 第2四半期 (4-9月)	前年同期比	2015年12月期 第2四半期 (4-9月)	前年同期比
金融ソリューション	8,828	+5.1%	2,612	▲17.3%
ビジネスソリューション	3,561	▲39.8%	2,215	▲37.3%
エンジニアリングソリューション	2,112	+21.2%	386	+10.9%
コミュニケーションIT	4,117	▲6.6%	1,776	▲11.0%
合計	18,620	▲9.0%	6,990	▲22.6%

<参考>

	受注高	
	2015年12月期 7-9月	前年同期比
金融ソリューション	4,400	+6.5%
ビジネスソリューション	1,572	+5.8%
エンジニアリングソリューション	1,022	+23.8%
コミュニケーションIT	919	▲25.8%
合計	7,913	+3.0%

受注・受注残は、当社が提供するサービスのうち、
受託システム開発、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品の
アトワ開発のみが対象です。

コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、
ライセンス保守、アトワ・運用保守サービス、情報
機器等は含まれておりません。

- 10 -

◆ 2015年12月期 連結業績予想

- ✓ 足下の動向、ならびに株式会社ビットアイルの株式売却に伴う特別利益（投資有価証券売却益）1,886百万円の計上を踏まえ、10月27日に通期業績予想を修正

(単位：百万円)

	2015年 12月期 (4-12月)	前年同期との比較			＜参考＞2015/5/12発表予想との比較		
		前期 (4-12月)	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	55,100	53,795	+1,305	+2.4%	54,714	+386	+0.7%
営業利益	1,800	1,073	+727	+67.8%	1,265	+535	+42.3%
営業利益率	3.3%	2.0%	+1.3p	-	2.3%	+1.0p	-
経常利益	2,170	1,266	+904	+71.4%	1,370	+800	+58.4%
当期純利益	2,680	674	+2,006	+297.6%	846	+1,834	+216.8%

2015年度上期トピックス

2015年度上期トピックス～金融ソリューション

中計戦略

競争優位性の追求

- 大手金融機関のグローバル展開や規制強化対応支援を拡大
- 決済システム更改や市場慣行整備に的確に対応
- 地域金融機関の業務改革の実現を積極的に支援

新ビジネス領域の開拓

- ビッグデータやクラウドを活用した新しい金融サービスを創出
- 金融ベンチャー等との連携から新規ビジネスを創出

2015上期トピックス

- ◆ メガバンクの海外拠点システム、市場系システムの案件堅調
- ◆ 次世代融資ソリューション「BANK・R」
～売上高は前年同期比181%、下期に向け大型案件複数受注
- ◆ 新日銀ネット 第2段階対応「Stream-R」
～都市銀行および資産管理系信託銀行において約8割のシェア(社数ベース)獲得し、10月13日より本格稼働開始
- ◆ Web接客ソリューション「LiveEngage」
～みずほ銀行に続き、大手金融機関への導入拡大(累計6社)
- ◆ 住宅ローン領域のFinTechベンチャー「株式会社MFS」に出資

■ FY15上期実績

	実績(億円)	前上期比
売上高	118	110%
セグメント利益	12	(12億円改善)
受注高(*)	88	105%
受注残高(*)	26	82%

(*)一部のサービス品目のみが対象

2015年度上期トピックス～ビジネスソリューション

中計戦略

競争優位性の追求

- グローバル・タレントマネジメント・ソリューション強化
- 会計、原価・生産管理系ソリューション強化

新ビジネス領域の開拓

- ライフサイエンス分野における新たなビジネスの創出

2015上期トピックス

- ◆ 連結会計ソリューション「STRAVIS」
～売上高は前年同期比132%、来期に向け大型案件も受注
- ◆ 人事管理ソリューション「POSITIVE」
～売上高は前年同期比113%、代理店経由の案件獲得も好調
- ◆ Oracle-EBS、Hyperion等、会計分野も好調に推移
- ◆ 7-9月の受注高は前年同期比105%に回復
- ◆ 一部プロジェクト外不採算化(受注損失引当8.9億円)

■ FY15上期実績

	実績(億円)	前上期比
売上高	71	103%
セグメント利益	▲3	(6億円悪化)
受注高(*)	35	60%
受注残高(*)	22	62%

(*)一部のサービス品目のみが対象

2015年度上期トピックス～エンジニアリングソリューション

中計戦略

競争優位性の追求

- 自動車業界におけるMBDソリューション領域のNO.1プレイヤーになる
- ものづくり革新支援のグローバル展開(日本含むアジア地域)

新ビジネス領域の開拓

- 製造業の設備保全、故障予測領域等ビッグデータによる新ビジネス創出

2015上期トピックス

- ◆ MBDの導入支援を中心にコンサルティングサービス拡大
～コンサルティング専門子会社「ITID」「ISIDエンジニアリング」「エステック」の売上高がそれぞれ大幅増
- ◆ 構想設計ソリューション「iQUAVIS」
～売上高は前年同期比131%、複数の自動車OEMで導入本格化
- ◆ 設計開発支援ソフトウェア商品の販売堅調
～「Teamcenter」の売上高 前年同期比123%
- ◆ 製造業向けソリューション拡充
～多様化する製造業のビジネスニーズに対応すべく、IoTならびにサービスライフサイクル管理(SLM)の領域でPTCとパートナーシップ締結

■ FY15上期実績

	実績(億円)	前上期比
売上高	108	108%
セグメント利益	▲0	(3億円改善)
受注高(*)	21	121%
受注残高(*)	3	110%

(*)一部のサービス品目のみが対象

サービスライフサイクル管理(Service Lifecycle Management)・・・製品出荷後の保守・サービスのプロセスを最適化し、効率化・高収益化を図っていくこと

2015年度上期トピックス～コミュニケーションIT

中計戦略

競争優位性の追求

- 電通協業のさらなる加速
(「公共」「CRM」「街ビジネス」等の領域で協業を加速)
- 電通グループの基幹システムのさらなる高度化を支援

新ビジネス領域の開拓

- マーケティング系ビッグデータを活用し、電通と協業で新ビジネス領域を開拓
- オムニチャネル、アドテクノロジー分野での事業創出
- 映像ソリューションを活用したスポーツ関連ビジネスの開拓
- 電通協業モデルの海外ロールアウト推進

2015上期トピックス

- ◆ 電通との協業ビジネス拡大
～公共向けの案件伸張

	2014年 4～9月実績	2015年 4～9月実績	前年同期比
電通協業売上	22.9億円	28.3億円	124%

- ◆ 東南アジアに特化したデータサイエンス専門組織を新設
～地域の特性に基づくビッグデータ収集・解析により、東南アジア諸国へ進出する企業のマーケティング活動を支援
～第一段として自動車向けVOC収集・分析サービス展開

■ FY15上期実績

	実績(億円)	前上期比
売上高	79	96%
セグメント利益	9	94%
受注高(*)	41	93%
受注残高(*)	17	89%

(*)一部のサービス品目のみが対象

2015年度の注力領域

IoT/ビッグデータ

- 製造業向け予知保全ソリューション（米Predictronics社）
～自動車、製鉄、産業機械、電機精密等で案件獲得
- 運輸サービス向けビッグデータ解析案件推進

オートティブ・インダストリー

- オートティブ事業部新設（2015年4月）
～自動車OEM向け上期売上高 前期比130%
～産官学連携への継続的関与

2020&Beyond

- 2020年に向けて街・観光、モビリティ、スポーツの領域で電通との協業による新たな提案機会が拡大
- 東大暦本教授をシニアフェローに迎え、先端テクノロジーやスポーツ×ITの領域を中心にイノボの活動をさらに強化

新中期経営計画の策定について

- 2016年1月からの3カ年を対象とする新中計の策定開始
- 2016年2月に発表予定

【参考】1-12月ベースの予想

	2015年12月期 1～9月実績 + 10-12月予想	2014年1月～12月の実績比		
		2014年 1月～12月実績	増減額	増減率
売上高	79,572	77,153	+2,419	+3.1%
営業利益	5,205	4,163	+1,042	+25.0%
営業利益率	6.5%	5.4%	+1.1p	-
経常利益	5,870	4,449	+1,421	+31.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,172	2,576	+1,596	+62.0%

主要プレスリリース <2015年5月～2015年10月>

金融ソリューションセグメント

- 6/12 地銀協の信用リスク情報分析ツール「CRITS® Discover」を構築
- 9/10 FinTechハンチャーへ資本参加
- 10/13 新日銀ネット第2段階に対応した日銀決済流動性管理システム「Stream-R」本稼働開始

エンジニアリングソリューションセグメント

- 10/14 製造業向けIoTプラットフォーム提供でPTCと提携

コミュニケーションITセグメント

- 8/18 電通、ISID、ビートトラック、インフォパワンの4社、企業のイノベーション創発を支援するタスクフォース「DSquad」を立ち上げ
- 8/24 ISIDシンガポール、東南アジア諸国のマーケティングに特化したデータサイエンス専門組織を新設

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 5/12 会計業務クラウドサービスがクラウドセキュリティ監査の認定取得
- 6/10 J1リーグ ヴィッセル神戸の試合で英語実況解説をリアルタイム配信
- 9/3 世界最高峰のメディアアートの祭典「アルシエレクトロニカ・フェスティバル2015」に出展
- 9/9 シアサイクルとスマホで、外国人旅行者を隠れた地元名所にご案内
- 9/29 スマホをテーマにした街づくりの仕組み「イブリス！」が「2015年度 グッドデザイン賞」を受賞
- 9/30 メディアコンテンツが外国人富裕層の訪日行動に与える影響を可視化する研究プロジェクトを始動
- 10/6 ISIDと株式会社セコンダクタ、歩行者自律航法(PDR)の実用性を向上するセンサーネットワークを構築
- 10/8 東大暦本研と共同で3Dスマホ動作解析システム「Running Gate」を開発
- 10/15 世界最大級の市民スマホの祭典「コーポレートゲームズ」参加企業に「イブリス！」を試験提供